



第43回学術運動交流集会

2018年3月4日(日) 神戸国際会議場

記念講演

“新聞記者の真価と民医連の深化”

いそこ

望月 衣塑子さん

1975年東京生まれ 東京新聞社会部記者
加計学園問題で、菅官房長官に鋭く質問を続けて食い下がった記者
著書『新聞記者』(角川新書) 『武器輸出と日本企業』(角川新書)

新聞記者



『全国革新懇ニュース』No.391 インタビュー

「なぜ私は菅官房長官への質問を続けるのか」より抜粋

☆「弱い側の人に寄り添う」

新聞記者としては、権力側ではなく、弱い側になつていたい。判断に迷ったときは、弱い側の人に寄り添って判断する、これを大切にしたいです。質問するときにはそこに気持ち、怒りを載せたい。私の質問が反響を呼んだとすれば、安倍一強のもと、「こんなことがまかり通るのか」という不満や批判が国民のなかに鬱積していた、いわばそれを突破してゆく流れのひとつの表象になったかも知れませんね。…

当日のプログラム

10:00～分科会

12:30～座長賞アンコールセッション

13:30～記念講演

参加申し込みは、2/16(金)まで

記念講演のみの参加も可能

申し込みは、各法人担当者までお願いします。



兵庫県民主医療機関連合会

TEL. 078-303-7351

E-mail. kenren@hyogo-min.com